

平成28年(2016)3月2日～4日

平成27年度(2015)

第5回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成 27 年度 (2015) 第 5 回出雲市議会 (定例会)
一般質問通告一覧表 目次

3月2日 (水) 10:00 開会			3月3日 (木) 10:00 開会			3月4日 (金) 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	湯 浅 啓 史	3	1	板 倉 一 郎	8	1	松 村 豪 人	13
2	岸 道 三	4	2	飯 塚 俊 之	9	2	井 原 優	14
3	原 正 雄	5	3	伊 藤 繁 満	10	3	多々納 剛 人	15
4	福 島 孝 雄	6	4	保 科 孝 充	11	4	神 門 至	16
5	大 谷 良 治	7	5	大 場 利 信	12	5	珍 部 全 吾	17

質問者	3	湯 浅 啓 史	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 21世紀産業支援センターの役割と成果について		市長	
<p>① NPO法人21世紀出雲産業支援センターについて、その運営事業内容に「販路・事業展開の拡大支援、企業間交流・マッチング促進、情報収集・発信等の事業をNPO法人21世紀出雲産業支援センターに委託し、企業活動の拡大を図る」とある。</p> <p>ア 企業間交流・マッチング促進についての実績は何か</p> <p>イ 他の団体と、どのように連携しているのか</p> <p>ウ 株式会社化を含め、組織を発展させる考えはないか</p>			
(2) 認可保育所について量の見込み数と入園希望者数との乖離を埋める方策は		市長	
<p>① 平成28年度4月へ向けての認可保育所への入園申込みが定員を大きく上回っており、多くの待機児童が発生する可能性がある。</p> <p>ア 「待機児童を発生させないよう一定の要件を付して定員を超えた受入れについて保育所と調整する」とは、具体的にどのような意味か</p> <p>イ 一時預かり事業（幼稚園型）の拡充は、現状ニーズを満たすことになるのか</p> <p>ウ 新たに施設を認可することも必要ではないのか</p> <p>エ 他、考えられる方策は何か</p>			
(3) 第3期出雲市教育振興計画の策定について		教育 委員長	
<p>① 平成28年度は、平成29年度から5年間を計画期間とする、第3期出雲市教育振興計画に併せ、教育の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるとされている。</p> <p>ア 教育委員会として、どのような視点が大切か</p> <p>イ 現在の教育行政の大きな課題は何か</p>			

質問者	2 岸 道 三		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市財政計画と平成28年度一般会計予算について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前回と今回の財政計画の策定方針に掲げられている目標値設定に大きく変更がない理由 ② 前年度予算、新たな財政計画と比較し、歳出増となっている要因 ③ 財政健全化へ向けた決意 			
(2) 幼稚園の現状と今後のあり方について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 園児数の現状と今後の推移における現状認識 ② 認定こども園化に向けた課題 ③ 将来的な市立幼稚園のあり方についての検討の必要性 			

質問者	8 原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 自治協会未加入問題について		記 事
<p>① 神門地区は近年住宅の新築が急増し、自治協会の加入率が6割を切る状況となりました。 協会役員が取り組み班を編成し未加入地区の戸別訪問の実施、集会の実施等献身的な取り組みを行っています。 災害時の対応、小中学校の行事、消防後援会を通じた消防団の取り組み等、組織の重要性の理解は進みつつありますが、団地としての役員体制、運営等、負担感があり、なかなか進まないのが現状です。</p> <p>ア 加入問題を抱えた自治協会の状況を伺います。</p> <p>イ 自治会等応援条例が制定されたのですが、取組支援の実情を伺います。</p> <p>ウ 神門地区では災害対策委員会を設置し66加入地区毎に1次避難所を指定していますが、民間施設等が含まれます。その対応について市の協力はあるのか伺います。</p> <p>エ 未加入団地に市職員をはじめとする公務員の方々が住んで居られるが、先ず市職員の認識についてどのように指導されているのか伺います。</p> <p>オ 加入促進は市政としても重要であり、特設リンクを新設する外、コミュニティセンターに補助員を配属する等、形のある取り組みが必要と考えるがどうか。</p>		総合政策 部長
(2) 保知石川と県道多伎江南出雲線の交差するボックスの拡幅について		
<p>① 県管理河川保知石川と県道多伎江南出雲線と交差する（藤増ストア、山陰合銀知井宮支店附近）ボックスカルバートの断面が小さく浸水常襲地帯で常時土のうが用意され神門地区災害対策の重点点検箇所です。神門消防団が対応しています。交通量が多く連担地であり、早期の措置が必要であります。局所的な（ボックスカルバートの拡幅）対応が出来ないか伺います。</p>		都市建設 部長

質問者	7 福島孝雄	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 地域農業の維持と所得向上の取り組みについて			
<p>① TPP発効による中山間の条件不利地域での影響と政府の試算を、市としてどのように見るか伺います。</p> <p>② 出雲市でのTPP関連補正予算「産地パワーアップ事業」の利用状況・見通しを伺います。</p> <p>③ 今後の支援事業を考える上で、営農組織における、コスト削減・集積・売上額等の条件緩和の考えは無いのか伺います。</p> <p>④ 中山間の条件不利地域での「小さな農業」維持のための「多業」「半農半X」に対する取り組みについて市の考えを伺います。</p> <p>⑤ 「新出雲農業チャレンジ事業」について ア 中山間地域省力化チャレンジ事業の対象地域・面積 イ 新技術（GPS）活用チャレンジ事業の対象件数・導入経費</p> <p>⑥ 中山間地域での農地中間管理機構の役割について、伺います。 ア 利用権設定の出し手と受け手の割合 イ 放棄地対策としての農地中間管理機構の役割</p>		農林水産 部長	
(2) 住民サービスの向上について			
<p>① コンビニ交付サービス事業について伺います。 ア マイナンバーカード申請状況について イ 各種証明書コンビニ交付に向けての調査スケジュールについて ウ 出雲市全域での交付可能店舗数について</p> <p>② コミュニティセンターの充実について伺います。 ア コミセンのあり方検討の目的と今後のスケジュール イ 事務事業の整理についての考え ウ 自主企画事業の取り組みに対する評価</p>		総合政策 部長	

質問者	1 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 移植医療の正しい知識の理解とドナー登録の推進について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 臓器提供意思表示カード（ドナーカード）の普及の現状把握 ② 新規登録者の確保のための登録機会の確保・充実について ③ 普及啓発活動と市民理解を深める取組みの実施状況について 		健康福祉 部長	
(2) 難聴児の補聴器購入助成等について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 補聴器購入費助成の、交付対象とその利用状況 ② 難聴児早期発見のための、検査体制と医療機関との連携 ③ 聴覚検査において軽度・中等度の難聴の疑いがあると診断された児童・生徒数 		健康福祉 部長	

質問者	20 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 親子の愛着形成支援について		市長	
<p>① 最近、凶悪な少年犯罪が増える中で、加害者の少年・少女の「愛着障がい」が大きく取り上げられている。また、今年の施政方針の中でも、乳幼児期からの親子の愛着形成や基本的な生活習慣の支援が述べられている。そこで、次の点を伺う。</p> <p>ア 親子の愛着形成とは何か。また、愛着障がいとは何か伺う。</p> <p>イ 近年、親子の愛着形成について、社会で支えていく必要があると言われてしている。そこで、市の具体的な支援策について伺う。あわせて、基本的な生活習慣の支援とは何か伺う。</p> <p>ウ 出雲市の児童虐待の実態について伺う。</p>			
(2) 自治会の支援について		市長	
<p>① 昨年3月に一般質問で取り上げたが、その後の取り組み状況について伺う。</p> <p>ア 現在の加入率の状況について伺う。</p> <p>イ 昨年質問の中で、市および市が関わる団体からの自治会に対する各種委員や事業の負担軽減をお願いした。実態調査をおこない、負担軽減を図るよう協議をするとの答弁であったと認識している。その後、どのような協議がなされ、どのような改善があったか伺う。</p> <p>ウ 今後の支援策の考えを伺う。</p>			

質問者	13	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) がん検診について		市長	
① がん検診の状況 ② 希少がん検診への取り組み状況			
(2) ITを活用したまちづくり・人材育成について		市長	
① 本市のITを活用したまちづくり、人材育成の取り組み状況			
② RUBYを活用した松江市の取り組み“RUBY CITY MATSUE”の評価（まちづくり、企業誘致、教育など） ③ 本市でのRUBYの活用策			

質問者	1 1 伊 藤 繁 満		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 出雲市財政計画（平成28～30年度）・長期財政見通し（平成31～37年度）の問題点について伺います。				
<p>① 財政計画は地方自治の本旨に沿い住民福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を上げなければならないことを基本として、総合基本計画、重点施策を加味したものでなければなりません。今回の財政策定方針は財政健全化の3指標の数字を、神業的に下げることのみに重点が置かれています。抑制、縮減、健全化指標等の文言しかない。市民サービスの向上、選択と集中、将来に希望の持てる施策の展開、将来のビジョンと展望が示されていないが狙いは何か伺う。</p> <p>② 本計画は、「現行制度に基づいて策定しており、予算編成の基本的な指針・枠組み等を示すものである」としているが、平成28年度地方税制改正による法人税、偏在補正、車体課税、地方消費税、固定資産税等は財政計画に反映されているか。その影響額を伺う。</p> <p>③ 予算規模を780億円台から736億円へ、更に690億円台に急降下されている。現状の社会保障費等の伸びからも非現実的と考えられる。地域経済への影響をどのように見通しているか。雇用問題を含めて伺う。</p> <p>④ 投資的経費が92億円から70億円へ、更に53億円に減額されているが、国、県支出金が概ね変わらない。バックデータが公表されていない為、詳細は分からないが、単独事業費は殆どゼロに近い額。学校統合などによる建築費、老朽化しつつある公共施設の改築費等待ったなしの状況がある。このことについて伺う。</p> <p>⑤ 義務的経費の人件費が占める割合が伸びているのはなぜか伺う。</p> <p>⑥ 依存財源、自主財源、財政力指数の推移を平成16年度決算から平成30年度計画まで見ると出雲市の財政構造は改善されていない状況にある。何が原因か伺う。</p> <p>⑦ 現実的で精査された財政計画の再公表を行うべきであるが伺う。</p>			市長	
(2) 安全・安心のまちづくりについて伺います。				
<p>① 交通安全施設のうち特に信号機の設置予算確保について伺う。</p> <p>② 市内保育所、幼稚園、小中学校等の出入り口をはじめ周辺道路においては児童生徒の横断等が行われ、今まで交通事故等が発生している。又、防犯灯の無い所、あっても暗く夕方方の一定の時間帯はわかりにくい状態の所がある。改善策を伺う。</p>			総合政策 部長	
(3) 土地改良施設の維持管理負担の在り方について伺います。				
<p>① 出雲市斐川土地改良区のパイプラインの維持賦課金は完成時から設置者と利用者である農家と折半してきたが、現状は農家の過重負担となっている。 この状況はいつまで続けていく考えか伺う。</p> <p>② 既に耐用年数が過ぎた施設について県単調査で機能診断が行われている基幹水利施設更新計画の対応について伺う。</p>			市長	

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事	
(1) 斐川のシンボリックな公共施設の整備を求めます。		行政改革 部長		
<p>① 斐川文化会館大ホールの存続・整備はどう考えていますか。</p> <p>ア 大ホールは、老朽化のために現状のままでは長期使用が見込めないとの見解です。長い間親しんできた斐川のシンボリックな施設であり、斐川町民の愛着心は熱いものがあります。改修を行って存続の方向性を出して頂きたい。現在の考え方を伺います。</p> <p>イ 市としては近隣に類似施設があるとの見解です。700～800人の収容施設はありません。斐川町民は「必ず残せ」という意見です。旧市町にはその地域のシンボリックな同じような施設がありますがその実態と、斐川はなくてよいのか、考えを伺います。</p>	<p>② 斐川支所を始めとする老朽化した各支所の整備は今後どのように考えていますか。</p> <p>ア 斐川支所を含め、大社、平田の各支所など老朽化が著しい支所がありますが、現状を伺います。</p> <p>イ 市としてこの3箇所を計画的に整備する必要があると思いますが、今後の考えを伺います。</p>			
(2) 産地間競争を勝ち抜く農業について伺う。		農林水産 部長		
<p>① 2月4日から2月13日まで斐川営農座談会が開催されました。各地域で熱心な意見交換が行われ、今後の営農に対する要望、疑問点などが寄せられました。その中の一部について市としての見解を伺います。</p> <p>ア 平成30年の生産調整の廃止・見直しが検討されている中で、県・市とJAとの一体化となった指導方針。</p> <p>イ ひかわ元気農業支援事業。 ・農産物直販、加工販売支援 ・先進的取り組み支援（GPS）</p> <p>ウ 平成27年12月から実施された斐川町農業委員会の農地の取得下限面積（1アール）の見直し状況。 ・住民への啓発状況 ・申請状況 ・県内他農業委員会の実態</p>	<p>② 下阿宮樋門の修繕調査設計業務について伺います。</p> <p>ア 本格的な工事に向けての修繕調査設計業務ですか。</p> <p>イ 今後の計画・スケジュール。</p>			

質問者	9 大場利信		答弁を 求める者	記事
(1) マイナス金利政策下での市の公金管理について			会計 管理者	
<p>① 日銀がマイナス金利政策を導入したことに伴い、預金金利は更に低下することが想定される。市の公金を適正に管理するには一層の工夫が求められると思われるが、これについて以下伺う。</p> <p>ア 歳入歳出に属する現金（決算額）および基金に属する現金の年度末残高は、それぞれ概ねいくらか。H25年度およびH26年度について伺う。</p> <p>イ 運用方法及び運用先はどのように決定しているのか。H26年度について伺う。</p> <p>ウ 今後の公金管理を適切に行うため公金管理の基本方針あるいは国債、地方債などの債券による資金運用指針を策定する考えはないか伺う。</p> <p>エ 関連して、マイナス金利政策により今後の起債について利息部分は減ると予想されるが、既に行われた起債について低金利政策のメリットを享受できるような対応、例えば借り換え運用などができないか伺う。</p>				
(2) 障がい者施策について			市長	
<p>① 65歳以上の高齢知的障がい者の福祉施策について以下伺う。</p> <p>ア グループホームや在宅などへの地域移行の際の支援</p> <p>イ 障がい福祉サービスと介護保険サービスとで支援の内容に違いが生じた場合の対応</p> <p>ウ 特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入れない場合などの対応</p> <p>エ 施設は高齢知的障がい者のセーフティネットと言われているが、施設入所者が継続して施設で障がい福祉サービスを受けることができるため、入所施設の増設・充実が求められているがこれについての見解</p> <p>② 発達障がい児支援について以下伺う。</p> <p>ア 5歳児発達相談支援事業の実施状況と今後の計画</p> <p>イ 厚生労働省が発達障がいを診断できる小児科医の養成を目指して研修を始めるようであるが、5歳児健診の普及のため望ましいことと考える。市として今後どのように対応するのか。</p>				
(3) 多言語コールセンターサービスについて			消防長	
<p>① このサービスの導入は市内の外国籍住民の救命・救急時の安全・安心をバックアップするものとして歓迎されるものである。このサービスの普及・向上を期待して以下伺う。</p> <p>ア 今後のこのサービスの普及のための説明会や研修の計画を伺う。</p> <p>イ 新聞情報によると5か国の通訳となっているが、タガログ語の通訳も必要と考えるがこれについて伺う。</p>				

質問者	17 松村 豪人		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 森林再生と資源の有効活用のため、バイオマス事業に期待する			
<p>① 荒廃した山林の再生が課題となっているなか、森林内に放置された未利用の間伐材の活用について、市としても木質バイオマスチップ燃料としての利活用につなげる取り組みをされており、とても良いことと考えている。林業が抱える従事者の高齢化や間伐の遅れなどの課題を解決し、ひいては森林資源の有効活用につなげたいと考えている。</p> <p>ア まず、市内森林資源の状況について伺う。</p> <p> a 推計でも良いので、市内の森林資源量 (m³) と、うち天然林蓄積量と人工林蓄積量、その割合</p> <p> b 上記 a の推移の傾向 (増減)</p> <p>イ 林業従事者の推移は。また、森の整備等により伐採した木々はほとんど利用されないように聞いているが、未利用間伐材の発生量と利用の状況は。</p> <p>ウ 市として、「みんなでつくる出雲の森事業」等、各種補助事業を実施してきたが、イの状況を踏まえて改善の余地はないか。</p> <p>エ 森林資源の有効活用による、地域経済の活性化が期待される木質バイオマス発電の可能性について</p> <p> a 市としてどのような見解か。</p> <p> b 県当局はどうか。</p>		副市長	

質問者	10 井原 優		答 弁 を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事	
(1) 介護保険について		市長		
<p>① 改定介護保険法によって要支援サービス（ホームヘルプ、デイサービス）を2017年4月までに、総合事業に移行することが求められています。市が実施する新たな「介護予防・日常生活支援事業」について伺う。</p> <p>ア 利用者の負担はどのようになるか。</p> <p>イ 専門職等によるサービスはうけられるか。</p> <p>ウ 介護事業者へ支払われる、介護サービスの単価はどのように決められるか。</p> <p>② 介護労働者の労働実態について</p> <p>ア 介護職員不足についてどのように認識しておられるのか。</p> <p>イ 介護事業所の実態について、伺う。</p> <p>ウ ア、イの内容を、どのように国へはたらきかけをされるのか伺う。</p>				
(2) 国保の改善を求める		市長		
<p>① 本市の国民健康保険の現状と課題について伺う。</p> <p>ア 被保険者数、滞納世帯数、保険料、「資格証」「短期証」の推移を伺う。</p> <p>イ 保険料が「高い」との認識について伺う。</p> <p>ウ 国の財政支援の抜本的な増額を求めるとともに、国保財政を安定化し、保険料の引下げはできないか伺う。</p> <p>エ 国保法第44条に基づく一部負担の減免制度の拡充を求めます。合わせて実績を伺う。</p> <p>オ 保険料の滞納者への対応について伺う。</p>				
(3) 就学援助制度について		市長		
<p>① 文部科学省は、2015年10月6日、「平成25年度就学援助実施状況等調査」の結果を発表しています。また、同省は、就学援助の実施状況等を定期的に調査し、公表することにより、各市町村の就学援助の活用・充実を図るとしています。4点について伺います。</p> <p>ア 就学援助の周知方法を伺う。</p> <p>イ 就学援助の認定基準の緩和ができないか伺う。</p> <p>ウ 就学援助の項目について、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給はできないか伺う。</p> <p>エ 初回の支給（月）は早められないか伺う。</p>				

質問者	21 多々納剛人		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 人手不足解消策と雇用対策について			
<p>① 全国的に少子高齢化から生産労働力人口の減少が危惧されるなか、人手不足が深刻な問題となっている。最近出雲市では大型スーパーや量販店の出店が相次ぎ人手不足は顕著となり、市内経済に与える影響は今後更に深刻化するのではないかと考えられる。</p> <p>背景には単に労働力人口の減少のみならず、構造的な問題が潜んでいると考えられる。</p> <p>全国的に見ても、少し前までは、余剰人員を抱え、どうやってそれを解消するのかが問題であり、また経済全体では、どうやって余剰人材の雇用機会を確保するのかが問題であったが、それが一変した。</p> <p>ア なぜ現状のような人手不足が生まれていると考えられるのか所感を伺う</p> <p>イ 業種別有効求人倍率から出雲市ではどの様な業種で人手不足が顕著となっているのか、また生産年齢人口（15歳～64歳）の推移を伺う。</p> <p>ウ 定住対策として、働く場の確保（雇用対策）は喫緊の課題であるが、企業誘致を促進すれば更なる労働力の確保が必要となるが、現状での認識を伺う</p> <p>エ 企業では、人件費削減からコストダウン経営が主となり、人手不足も問題だが、人材不足が発生し、その結果、単一的な労働を低賃金でこなす人材は確保できるようになったが、スキルとモチベーションが高く、重要な仕事を任せられる人材の数が減ったと言われているが所感を伺う。</p> <p>オ 全般的に人材育成は重要課題であるが、特に福祉人材の確保・育成については急がれ、行政も責任を有すると考えるが、出雲市の福祉人材確保対策を伺う</p> <p>カ 大学進学後の就職などで県外に流出している人材を確保するには、現在以上に魅力ある企業を育成すると共に、学んだ専門性が生かせる企業の誘致などを進める必要があると考えるが、その取組について考えを伺う</p> <p>キ 指定管理者制度の問題点として、官製ワーキングプアが指摘されていますが、結果的に制度がそれを助長する事につながっていないのか所感を伺う</p>		市長	

質問者	4 神 門 至	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 出雲市の指定管理者制度について			
<p>① 指定管理者制度の運用に関する考え方について</p> <p>ア 市の基本的な考え方</p> <p>イ 県の基本的な考え方 特に、「指定管理者の利益・過大な利益の額の算出方法」についての考え方</p> <p>② 現在の公共施設数及び指定管理施設数等について</p> <p>ア 市内の公共施設数の状況</p> <p>イ 市内の指定管理施設数及び担当部署の状況</p> <p>ウ 市内の指定管理施設に対する職員の配置状況</p> <p>③ 現在の指定管理者の募集等について</p> <p>ア 指定管理者の公募と非公募</p> <p> a 公募数と非公募数</p> <p> b 公募と非公募の理由</p> <p>イ 募集の考え方 特に、「指定の期間・審査基準」についての考え方</p> <p>ウ 採点の考え方 特に、「利益還元納付金」についての考え方</p> <p>エ 出雲市指定管理者「候補者選定委員会」の考え方 特に、「委員会の構成・人数」についての考え方</p> <p>④ 現在の指定管理施設の管理状況について</p> <p>ア 市が管理すべき事項</p> <p>イ 指定管理者が管理すべき事項</p> <p>ウ 指定管理施設の監査</p> <p> a 監査の実施日と方法</p> <p> b 監査人と監査結果の公表</p> <p> c 監査指摘事項への対応</p> <p>⑤ 市長ポストに投稿されている質問事項への回答について</p> <p>ア 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について</p> <p> a ブラックと呼ばれる指定管理者があるのか</p> <p> b 個別の労働条件等について、市は把握しないのか</p> <p> c 指定管理者の「取り消し」の判断基準はなにか</p> <p>イ 指定管理者の利益還元納付金について</p> <p> a 利益還元納付金はどのような場合に納付させるのか</p> <p> b 納付金額の算定方式はどうなるのか</p> <p> c 納付金の税務上の取扱いはどうなるのか</p> <p>⑥ 今後の「市の指定管理者制度の運用（制度）」における考え方について</p> <p>特に、「市民及び利用者からの意見反映・制度の見直し」についての考え方</p>		市長	

質問者	32	珍 部 全 吾	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 日銀のマイナス金利政策		市長	
① 出雲市の財政に対する影響は ア 公債の借り換えについて イ 資産運用は ② 市民に対する影響は 市民の中には預金利子までマイナスと受けとめる人もい る。市民の不安に対して市の対応はどうか			
(2) 市所有の資産の利活用		市長	
① 旧市役所用地をどのように活用する考えか ② 6月で休館となるクアハウスの利活用 ③ 廃校になった校舎はどう活用するか ④ その他、市有地、建築物の利用は			
(3) 団塊の世代が75才を迎える2025年問題		市長	
① 市の基本的考え方			